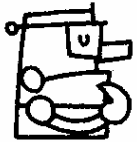


小 / 理科 / 6年 / 地球と宇宙 /
星の動き / 理解シート

ほくとしちせい

北斗七星は、ひとばんでどんな動き方をするの



北極星を中心にして、円を描くように、時計の針とぎゃく向きの方に動くのさ。

北斗七星を午後8時ごろ観察するなら、春から夏にかけては北極星の上の方に、さかさになったひしゃくの形で見られ、秋から冬にかけては、地平線に近いところに、春のころとはぎゃく向きの形で見られます。

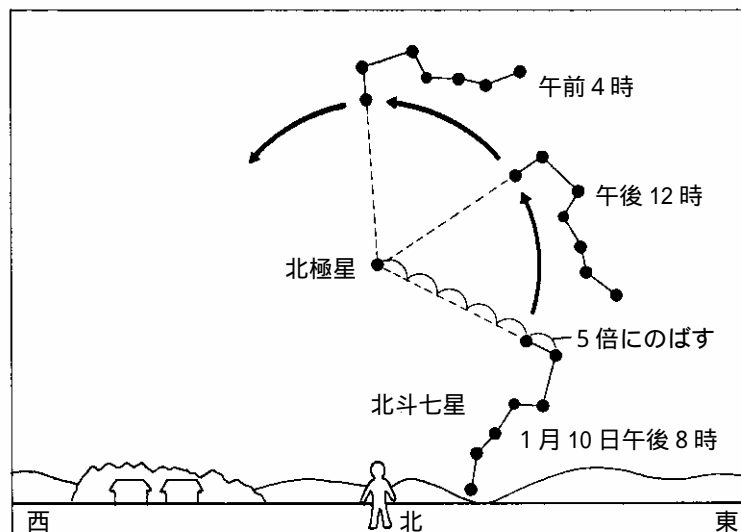
高い木や電線、建物など目印になるものがある観察しやすい場所を見つけたら、足の形を書いておき、2時間おきに、同じ場所に立って星座の位置を調べましょう。

春から夏にかけてなら、北斗七星は、東から西へ半円を描くように動くのがわかります。秋から冬にかけては、地平線近くを、西から東へ半円を描くように動きます。北斗七星のひしゃくの部分を5倍にのばしたところには、いつもほとんど動かない北極星があります。

北斗七星は、北極星のまわりを、1日で一回りしている

これらのことから、北斗七星は、北極星を中心にして円を描くように動いていることがわかります。

円がかけている部分は、昼間出ているため、見えないのです。



< 北斗七星の動き >